



北海道の 食と農の明日へ

※本フェアは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われます。

令和5年
11月9日木・10日金
10:00~16:00

サッポロファクトリーアトリウム会場

札幌市中央区北2条東4丁目

9日木 農業・食品分野の
技術展示交流会

10:00~12:00 (出展者のみ)

9日木 開会式
12:30

9日木 農業・食品分野の
技術展示交流会

12:40~16:00 (一般・関係者への公開)

10日金 研究開発、事業、新製品等の
展示・紹介によるシーズとニーズの
出会いの場

10:00~16:00

産学連携の相談・商談窓口を開設

10日金 ここが見どころ!
次代の農業を担う
高校生の活動を紹介

11:30~12:00 / 40人まで

トピックス!
次代の農業を担う高校生たち
北海道静内農業高等学校
北海道旭川農業高等学校

10日金 ショートセミナー 13:00~13:40 / 40人まで

北海道の未来を拓く新作物ーラッカセイー

・藤井信二氏(芽室町落花生生産組合 組合長)

展示内容一覧

1 北海道旭川農業高等学校

令和2年度から市内製麺会社の鍋ラーメン用乾麺を無償提供していただき、肥育豚で乾麺割合を80%まで高めた自家混合飼料を給与しても十分飼料として利用が可能であることを確認しました。

2 北海道静内農業高等学校

静内農業高校の学習を、ポスターや動画、プレゼンで紹介しします。特に、生産科学科園芸コースで現在取り組んでいるバイオ炭を活用した野菜、花卉栽培について紹介しします。

3 ベジヨー・ジャパン株式会社

オランダを拠点とする種苗会社ベジヨー・グループの一員です。ニンジン、タマネギ、アスパラガス、キャベツ等のアブラナ科作物等北海道農業において重要な作物の品種改良、研究開発を精力的に進めています。

4 赤ビート研究会

赤ビートは、機能性色素ベタレインを豊富に含むと同時に独特な風味を持つ野菜です。今年度、赤ビートの普及・北海道での特産化を目指し、赤ビート研究会を立ち上げました。赤ビートの特徴や加工食品、普及活動の取り組みを紹介しします。

5 北海道アロニア研究会

アロニアはアントシアニンを極めて多く含有し、スーパーフードと言われている。機能性成分を多く含有し健康効果の発表も多く、メディカルフードとも言われている。アロニアの紹介、果実を使用した加工商品を紹介する。

6 国立大学法人 北見工業大学

寒冷地にて冬季に栽培される「寒締めホウレンソウ」を人工的に栽培する植物工場システムについてご紹介しします。根域のみを冷却して低温ストレスを付与することで、省エネルギーでの生産を可能にしています。

7 国立大学法人 北海道大学ロバスト 農林水産工学国際連携研究教育拠点

現在、牛のがんが急増しています。発症牛の牛肉は廃棄となることから全国の農家にとって大きな経済損失の原因となっています。北海道大学は、世界に先駆けて早期発症診断が可能な牛のがん検診の開発に成功しました。

8 旭川食品産業支援センター

当センターの主要事業である「衛生指導」、「商品開発支援」、「人材育成」の取り組みを紹介致します。また、開発支援で携った「合同会社つづれ」の無添加ペットフード「糞とプラン」を展示致します。

9 日本甜菜製糖株式会社

北海道のてん菜を原料とし、北海道の当社工場で製造した砂糖やオリゴ糖を紹介しします。ビート含糖の北海道まるやかてんさい糖も紹介しします。

10 道総研 食品加工研究センター

道産ミズナラ材の樽で熟成したワインの開発に向けて、トースト(焼成)処理条件がワインの香気成分に及ぼす影響を明らかにするとともに、道産ミズナラ材と欧米産オーク材で付与される香気成分の違いを明らかにしました。

11 道総研 農業研究本部

道総研開発品種から、大きくて美味しいさくらんぼ「陽まり」、目が浅くて害虫に強いばれいしょ「ゆめいこる」、倒れずにたくさん穫れるいんげんまめ「秋晴れ」を紹介しします。

12 (株)YSE

次亜塩素酸水「クリアランス」、雑草キラー・ナノバブル生成器「スピノア」、液体肥料「Nパワープラス」・yse48.mmm鋼管製ビニーハウス

13 (あも) AMO環境デザイン株式会社

高機能樹脂 AMO チューブを使った、ふく射暖房・冷房システム。高機能樹脂 AMO チューブを使った、極寒冷地対応太陽集熱システム。

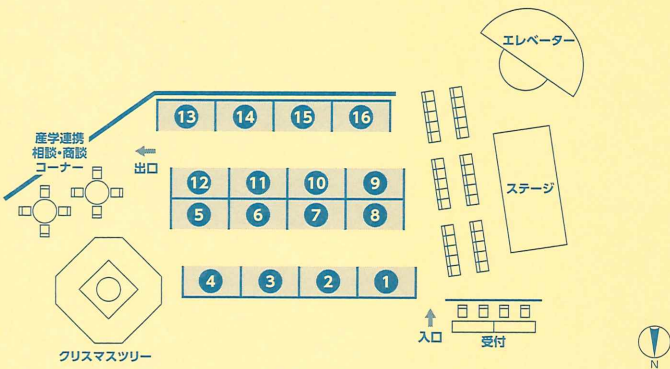
14 農林水産省 北海道農政事務所

農林水産省の「みどりの食料システム戦略」では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現することを目指しています。展示では戦略の実現に資するスマート農業の事例を紹介しします。

15 16 農研機構 北海道農業研究センター・ 種苗管理センター

ダブルローなたね品種「ペノカのしずく」や雌穂が利用できる飼料用トウモロコシ新品種「北交97号」などの研究成果をパネル展示するとともに、じゃがいも品種の展示を行います。

展示場案内図



問い合わせ先

NPO法人グリーンテクノバンク事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10番地ピア2・1 5階
Tel & Fax: 011-210-4477 E-mail: gtbh@gtbh.jp



主催 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室、NPO法人グリーンテクノバンク

共催 農研機構北海道農業研究センター、北海道立総合研究機構

後援 北海道開発局、北海道経済産業局、北海道、札幌市、帯広畜産大学、東京農業大学生産学部、藤女子大学、北海道大学、酪農学園大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所北海道センター、中小機構北海道本部、北海道中小企業家同友会、北海道経済連合会、ノーステック財団、ホクレン、日本政策金融公庫、北海道銀行、北洋銀行、北海道新聞社、北海道協同組合通信社、北海道農業改良普及協会、HBC 北海道放送、HTB 北海道テレビ、STV 札幌テレビ、TV h テレビ北海道、UHB 北海道文化放送

『相談コーナー』では、農林水産省産学連携支援事業コーディネーターが、産学連携、マッチング等に関する技術相談（無料）に対応いたします。

出展機関一覧

分類	ブース番号	機関名称	電話番号	住所
高校	①	北海道旭川農業高等学校	0166-48-2887	旭川市永山町14丁目153番地
	②	北海道静内農業高等学校	0146-46-2101	日高郡新ひだか町静内田原797
大学	⑥	国立大学法人 北見工業大学	0157-26-9153	北海道北見市公園町165番地
	⑦	国立大学法人 北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点	011-706-6741	札幌市北区北13条西8丁目
野菜・小果樹	③	ベジロー・ジャパン株式会社	011-776-6834	北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク1-1-10-2F
	④	赤ビート研究会	011-788-6804	札幌市東区中沼西4条2丁目1-15
	⑤	北海道アロニア研究会	011-631-6500	札幌市西区山の手1条5丁目5の8
支援機関	⑧	旭川食品産業支援センター	0166-68-2831	旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号
食品製造	⑨	日本甜菜製糖株式会社	03-6414-5535	東京都港区三田三丁目12番14号
施設・生産資材	⑫	(株)YSE	011-633-1101	札幌市中央区北一条西25丁目1番25号
	⑬	(あも) AMO環境デザイン株式会社	011-381-0070	札幌市北区北10条西2丁目9-1 アルファスクエアさっぽろ北口608
研究機関等	⑩	道総研 食品加工研究センター	011-387-4116	江別市文京台緑町589-4
	⑪	道総研 農業研究本部	0123-89-2586	夕張郡長沼町東6線北15号
	⑮	農研機構 北海道農業研究センター	011-857-9414	札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
	⑯	農研機構 種苗管理センター	011-375-3611	北海道北広島市西の里1089番地
行政・地域振興	⑭	農林水産省 北海道農政事務所	011-330-8810	札幌市中央区南22条西6丁目2-22 エムズ南22条第2ビル